

【注意事項】ご入稿前に必ずお読みください。

- 印刷入稿データは、Adobe illustrator 形式ファイルのみ受付可能です。
- illustratorのバージョンは Creative Cloud まで対応可。
- データのカラーモードはすべて「CMYK」です。特色やRGBでのデータをご入稿された場合は、**すべてCMYKに変換しての印刷**となりますので、データと仕上がりの色味が大きく異なる場合がございます。
※原則的にデータチェック対象外になりますのでご注意ください。
- 指定範囲内で自由にデザインしていただけます。パーツのサイズや数に制限はありませんが、カットラインやデザインの余白のルールをお守りください。また、**外枠のカットラインの変更はできかねます**。
- スタンドのツメと差し込み口、アクキー(オプション)用ストラップ穴は、**形状が固定です(拡大・縮小不可)**。
テンプレート内「パーツ」レイヤーから、各パーツのパスをご利用ください。(使い方は2、3ページ目)
- 各パーツはアクリルキーホルダーにすることも可能です。テンプレート内の「アクキー用穴」を使用してお作りをお願いします。なお、穴の数に制限はございませんが、金具のお届けは1個です。
- **各パーツの「周り」の部分にもデザインが可能です**。周りのデザインは、外枠から2mm以上空け、各パーツのカットラインから1mm以上空けてお作りください。
- 白ベタは必ず白ベタレイヤーに配置し、「**K100%**」で作成してください。
- カットラインのパスは、外枠から5mm以上空け、各パーツのカットラインも3mm以上空けてお作りください。
また、**スタンドにしたいパーツは指定の「スタンドパーツ」のパスと繋がるようにお作りください**。
- 各パーツのデザインは、印刷範囲のラインでクリッピングマスクをする等、**範囲内に必ずおさめてください**。
→データ作成についての詳細説明は2ページ目、3ページ目をご覧ください。

Illustrator でのデータ制作

- **フォントは必ずアウトライン処理**を行ってください。
- データに画像を使用した場合、必ず「画像の埋め込み」を行ってください。
- 配置される**画像データの解像度は、原寸の画像サイズで最低300dpi (推奨は350dpi)**を推奨しております。
※低解像度の画像を配置されている際、原則的にデータチェック対象外になりますのでご注意ください。
また、画像データが低解像度による仕上りの品質に対しての責任は負いかねますので、ご了承ください。

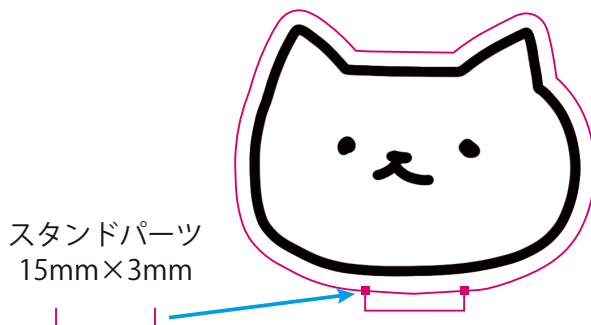
著作権・肖像権の取り扱いについて

「著作権・肖像権の侵害」に該当する内容のものに関しては印刷をお断りさせて頂いております。
弊社にて「著作権・肖像権の侵害」の可能性があると判断した場合、ご注文をキャンセルさせて頂きます。

テンプレートデータの各項目について



●スタンドパーツのデザイン方法

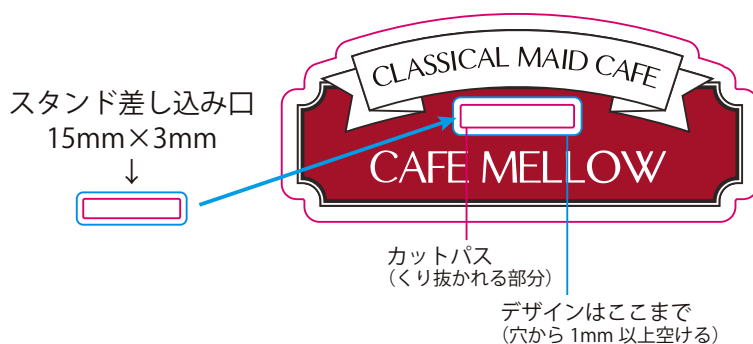


ご製作いただいたカットラインパスに、「スタンドパーツ」のパスの上部分が接するように配置し、カットラインと合体します。



水平部分があると安定感が増します

カットラインの高さや幅が足りない場合は、上記のようにスタンドパーツに完全に接するようにカットパスを調整してください。



水色の線を、「塗り・ホワイト」に変更して上に載せる

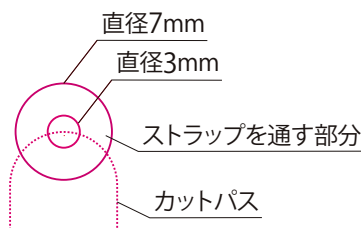


水色の線を塗りのパスに変更し、白ベタ用のパスの上に載せ、「中マド」で穴を開ける
※必ず K100% のパスにしてください

カットパス作成上の注意点

- カットパスは必ずカットパス用レイヤーに作成してください。
- カットパスは一筆描きの、線が交差しない閉じた図形で作成してください。オープンパスはデータ不備となります。
- 「効果」メニューの「スタイライズ」での角丸は、カットに反映されません。カットパスはフィルタ等を使用せず実線のみで作成してください。（※複雑な切り抜きは不可能な場合があります。ご注文の前にお問い合わせ下さい。）
- ストラップ穴はテンプレート上にご用意してあるオブジェクトをご利用ください。
- ストラップ穴は、内径3mm穴のパスがご制作されたカットパスに接するように配置してください。
- カットラインの中抜きには対応しておりません。

※ストラップを通す部分は、右の図のように
内径3mm穴のパスをご制作されたカットパスに
接するように配置して下さい。



白ベタ作成上の注意点

- 白インクの使用には、白ベタ用のデータを白ベタレイヤーに制作が必要です。
- 白ベタ用のデータは、「K100%」で作成してください。
- ぼかし・グラデーションのような濃度差を表現することはできません。必ず濃度 100% での出力となります。
- 白ベタ用のデータは、マスクを使用して制作しないでください。
- デザイン上、部分的に抜きになされたい場合、黒ベタの上にホワイトのオブジェクトで配置し抜きを表現せず、必ず配置されているオブジェクトが「K100%」のみが配置されているように「抜き」でご制作ください。

デザイン製作例



◀テンプレート配置時

▼仕上がり



本体（組み立て時）



アクキー